

平成 18 年度裁判員制度広報個別企画コンセプト

◆ メイン企画

地方裁判所を中心とする下級裁での双方向的広報企画

1 模擬裁判

最高裁判所から配布する模擬裁判記録も利用して、各地で実施。参加者や傍聴者からの意見を、制度運用の検討に活用。

2 出張講演会，説明会等

制度の周知・理解を図る。

参加者からの意見，要望を制度運用や環境整備の検討に活用。

会社の経営者団体，自治体，マスコミなどが重点対象。

3 全国一斉イベント

1，2から得た検討結果を総括的に国民に提供する。平成17年度に実施した「裁判員制度全国フォーラム」的なイベント。

◆ 広報ツール

模擬裁判，説明会等で活用できる支援ツールとしての位置づけ

1 説明会総合プロデュース

説明会，出張講義等を効果的に実施するための総合的ツールの作成。

制度の解説資料（シナリオ），イメージビデオ等トータルで作成（各地でのカスタマイズ）。

## 2 映像ツール

### (1) 映画

裁判員の選任手続を中心にしたドラマ仕立ての映画を制作（60分程度）

### (2) アニメーション

学校教育でも活用しやすいよう、アニメーションによって裁判員制度を紹介するビデオを制作。

## 3 冊子類

### (1) ブックレット

平成17年度に制作したブックレットを改訂

### (2) 漫画

活字離れ世代（20代）を中心ターゲットにサラリーマン向けの漫画小冊子の形式。

## 4 広報グッズ

来庁者や広報企画参加者に配布するための広報グッズを製作。

### ◆ メイン企画を支える企画

- メイン企画を支援し、成功させるための広報企画
- 国民全般に対する制度内容の理解や参加意識の底上げ

### 1 新聞・雑誌等広告

テレビ等に比べると情報量が多く、制度の内容にまで踏み込んだ情報が提供できる新聞広告・雑誌広告を中心に展開。

## 2 シネマアドバタイジング

視聴する側の興味の有無を問わないため、映画上映前の広告枠を利用して、メッセージ性が強く、正確性を重んじた映像を全国の映画館で上映。

## 3 インターネットを利用した広報

### (1) 裁判員制度ウェブサイト

平成17年に新設した専用ウェブサイトを随時アップデート

→ 国民の基本的情報源として確立

### (2) 携帯電話サイト

さらに手軽な情報源として、ウェブサイトの記事の一部を掲載。

### (3) メールマガジン

裁判員制度に関する最新の情報を希望者に電子メールで送付。

### (4) バナー広告

裁判員制度ウェブサイトへの誘因ツールとして実施